

くじによる落札者の決定方法

開札の結果、最低価格で同額の応札者が複数いた場合は、次の方法により、くじで落札者を決定します。

- 1 入札参加者は、あらかじめ入札書に任意の3桁のくじ番号を記載して下さい。くじ番号の記載がない場合（正しく記載されていない場合を含む）は、「999」とみなします。
- 2 以下の手順によりくじを行います。
 - (1) くじの対象となる者を、(株)・(有)などを除く事業者名称の五十音順に並び、0から順に番号を付与します。
 - (2) くじの対象となる者の任意のくじ番号の合計を、くじの対象となる事業者数で除算し、この時の余りを当たり番号とします。
 - (3) 当たり番号と(1)で付与した番号が一致する事業者を落札者とします。

(例) 落札者となるべき同価格の入札をした者が3者ある場合

事業者名称（五十音順）	番号	入札書に記載のくじ番号
A株式会社	0	729
B株式会社	1	319
C有限会社	2	510

$$\left(\begin{array}{l} \text{くじ番号の合計 } 729 + 319 + 510 = 1558 \\ \text{くじの対象となる事業者数 : } 3 \\ 1558 \div 3 = 519 \text{ 余り } 1 \end{array} \right)$$

余りが1となるため、番号が「1」のB株式会社が落札者となります。